

①現状(航空写真)

気高海岸 35

R7年6月4日撮影



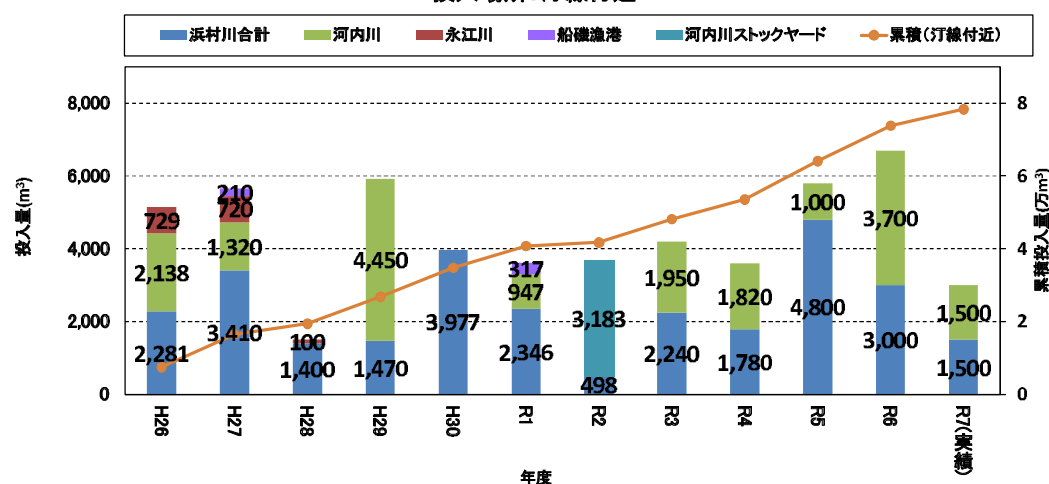
②現状(サンドリサイクル実績)

- 気高海岸では、H26（2014）年度から航路浚渫土砂による海上養浜、河口閉塞土砂による陸上養浜が実施されている。

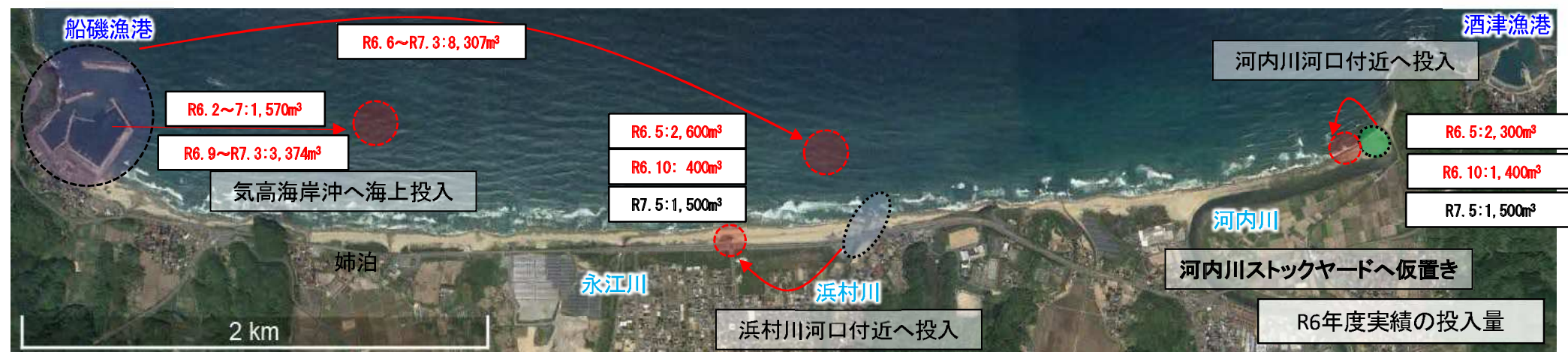
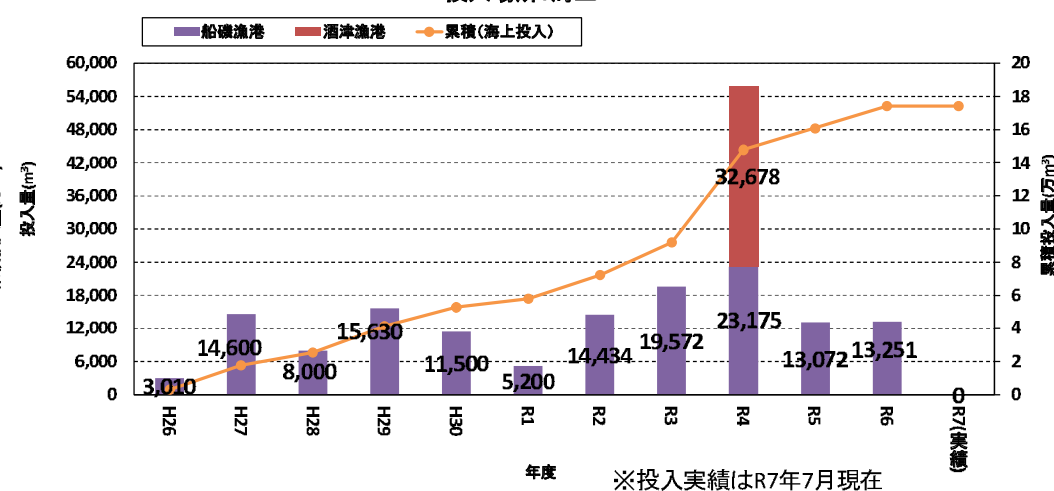
養浜先	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度
船磯漁港→気高海岸沖合	14,434m ³	19,572m ³	23,175m ³	13,072m ³	13,251m ³
浜村川河口→浜村川左右岸	498m ³	2,240m ³	1,780m ³	4,800m ³	3,000m ³

- R5（2023）年度から船磯漁港からの浚渫土の一部が、漂砂上手の浜村川左岸沖合へ養浜されている。
- H26（2014）年度からR7年7月までに、約25万m³ のサンドリサイクル（累積陸上投入7.8万m³、累積海上投入17.4万m³）が行われている。

投入場所：汀線付近

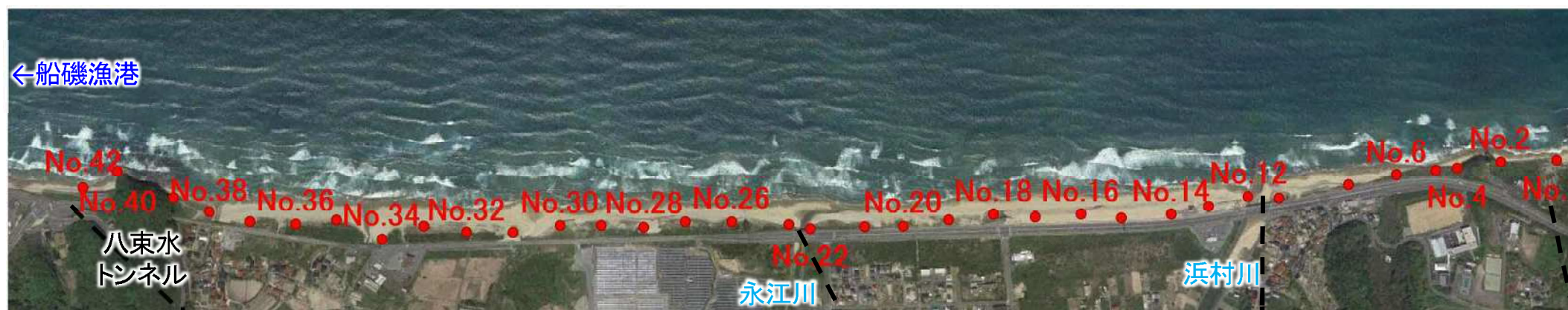


投入場所：海上

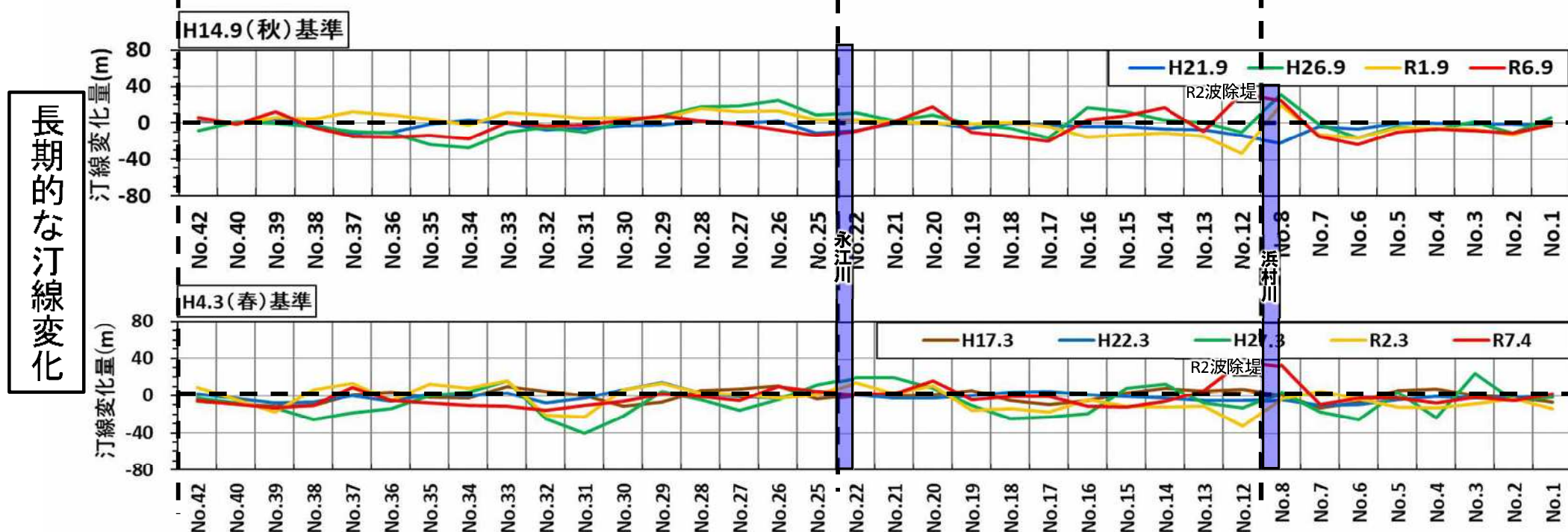


③現状(長期的な汀線変化)

長期的な汀線変化：浜村川周辺を除いて、汀線は、概ね基準年の汀線付近で変動している。浜村川周辺では、R6.9(秋季)、R7.4(春季)において、基準年の汀線から前進している。



出典：Google (sf).一部加筆



H4年3月及びH14年9月測量を基準とした長期的な汀線変化

※測量基準年は、保有している測量データの最も古いデータを設定(季節毎)

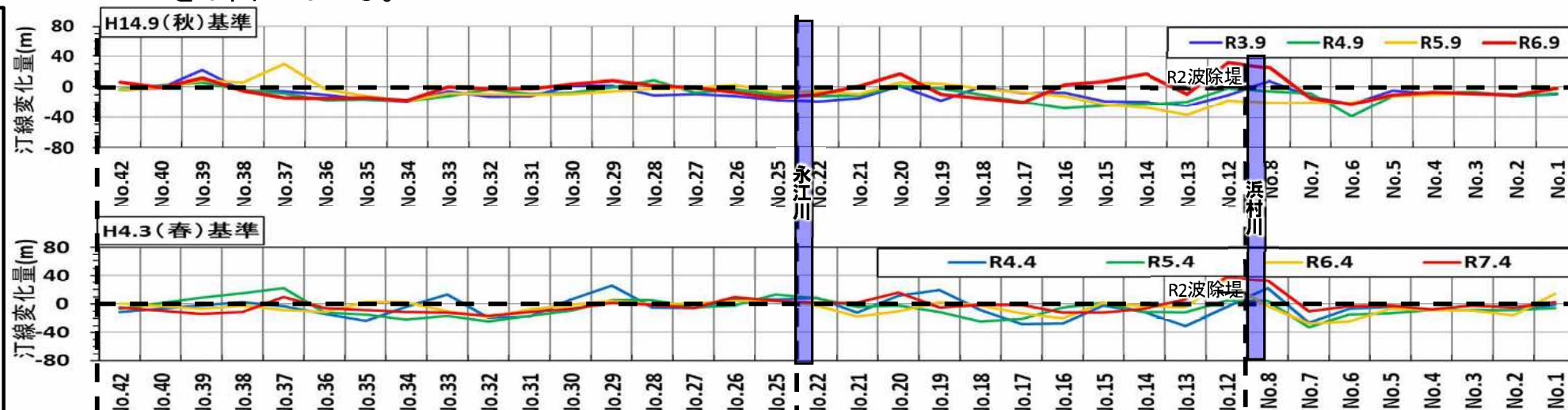
④現状(短期的な汀線変化・砂浜幅)

気高海岸 38

短期的な汀線変化：浜村川周辺を除いて、汀線は、概ね基準年の汀線付近で変動している。浜村川左岸のNo. 12～22において経年的な変動が大きい。

砂浜幅 (R7春)：八束水トンネル付近 (No. 39～42) 及び浜村川右岸 (No. 3、No. 5) において、防護面の目安浜幅 (25m) を下回っている。

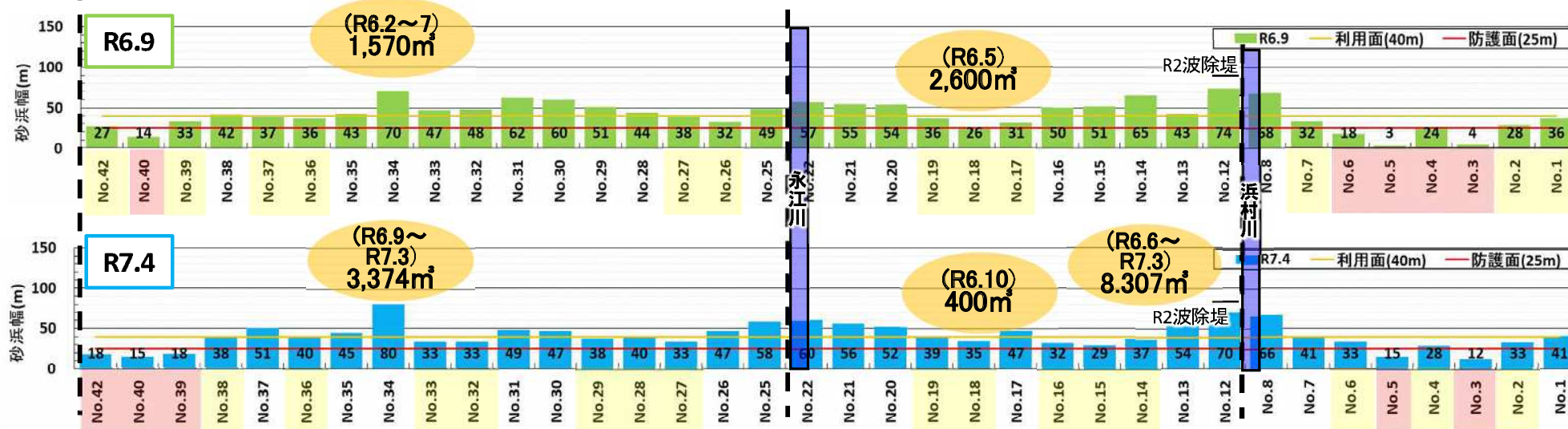
短期的な汀線変化



H4年3月及びH14年9月測量を基準とした短期的な汀線変化

※測量基準年は、保有している測量データの最も古いデータを設定(季節毎)

砂浜幅



R6年9月及びR7年4月測量時の砂浜幅

※赤色ハッチ: 防護面の目標浜幅25m以下
黄色ハッチ: 利用面の目標浜幅40m以下

※測点は100mピッチ

⑤土砂変化分析(中期)

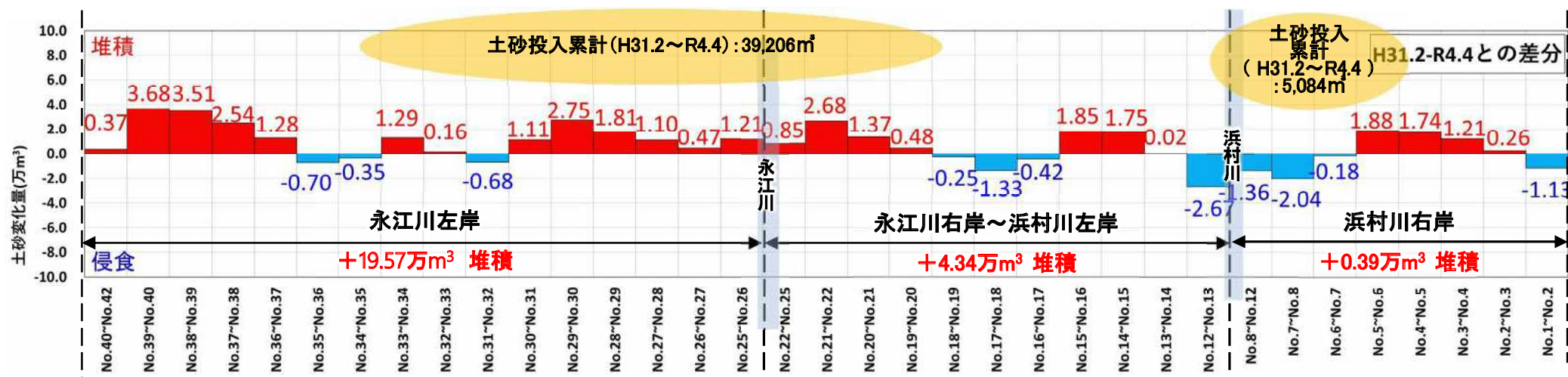
【H31. 2とR4. 4土砂量比較】

○海岸全体として、約24万m³の堆積傾向にあることが算定された。

【R4. 4とR7. 4土砂量比較】

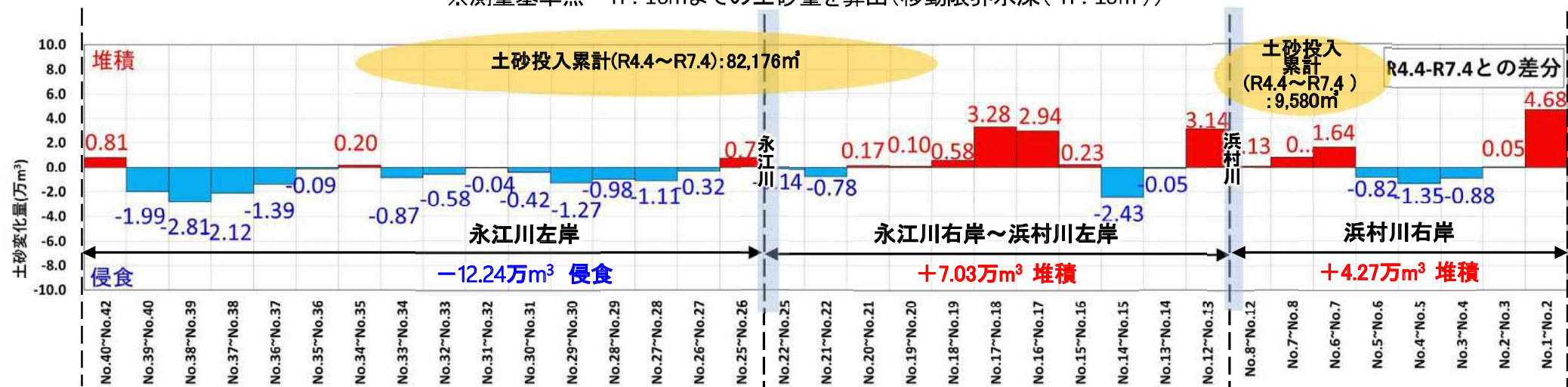
○海岸全体として、約1万m³の侵食傾向にあることが算定された。

○永江川左岸では、概ねの区間で侵食傾向である。



H31年2月とR4年4月の土砂量比較

※測量基準点～TP.-10mまでの土砂量を算出(移動限界水深(TP.-10m))



R4年4月とR7年4月の土砂量比較

※測量基準点～TP.-10mまでの土砂量を算出(移動限界水深(TP.-10m))

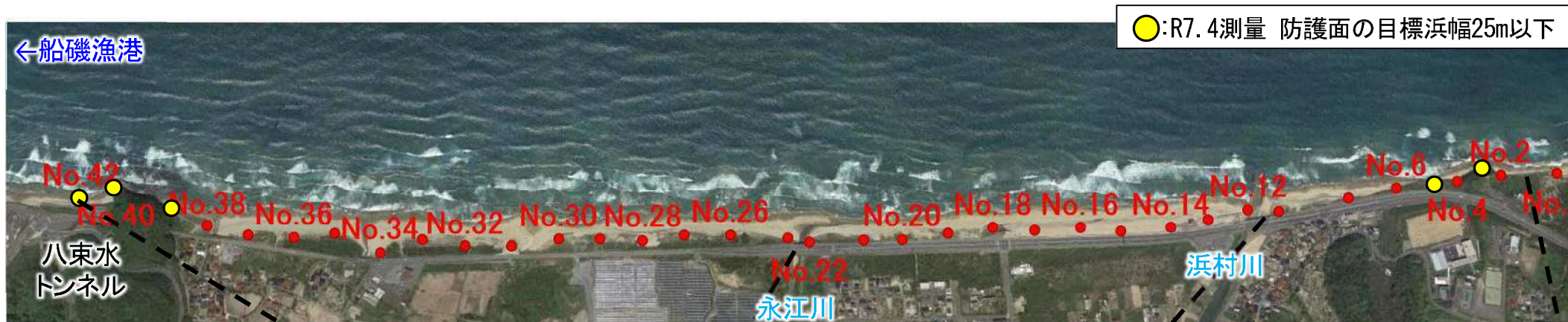
※100m間隔の測線におけるシングルビーム法による測量結果をもとに平均断面法で土砂量を算出

⑥課題と対応方針

気高海岸 40

【対応方針（案）】

○R5年度から船磯漁港の浚渫土を浜村川左岸沖合へ、浜村川河口浚渫土を浜村川左右岸へ養浜することとしており、引き続きその位置へ養浜を継続するとともにその効果をモニタリングする。八束水トンネル～永江川左岸側では、概ねの区間で土砂量が減少傾向であると算定されたことから、継続してモニタリングを行う。



出典：Google (sf).一部加筆

	八束水トンネル～永江川左岸側	永江川右岸～浜村川左岸	浜村川右岸
施設整備履歴	—	波除堤整備 (R2年浜村川左岸緊急対策)	—
対策実施状況	土砂投入		
利用状況	利用なし		
長期的な地形変化 (H14、4～R6、7)	安定傾向	浜村川周辺で前進傾向	安定傾向
短期的な地形変化 (R3、4～R6、7)	安定傾向	浜村川左岸(No.20～12)で経年的な変動 が大きい	安定傾向
砂浜幅(R7.4)	防護面の目標浜幅を下回る箇所がある。 (17箇所中3箇所)	防護面の目安浜幅(25m)を確保	防護面の目標浜幅を下回る箇所がある。 (8箇所中2箇所)
問題点・課題	防護面の目安浜幅(25m)の確保 概ねの区間で土砂量が減少傾向	—	防護面の目安浜幅(25m)の確保
今後の対応方針（案）	R5年度から船磯漁港の浚渫土を浜村川左岸沖合へ、浜村川河口浚渫土を浜村川右岸へ養浜することとしており、引き続きその位置へ養浜を継続するとともにその効果をモニタリングする。八束水トンネル～永江川左岸側では、概ねの区間で土砂量が減少傾向であると算定されたことから、継続してモニタリングを行う。		

①現状(航空写真)

青谷海岸 41

R7年6月4日撮影



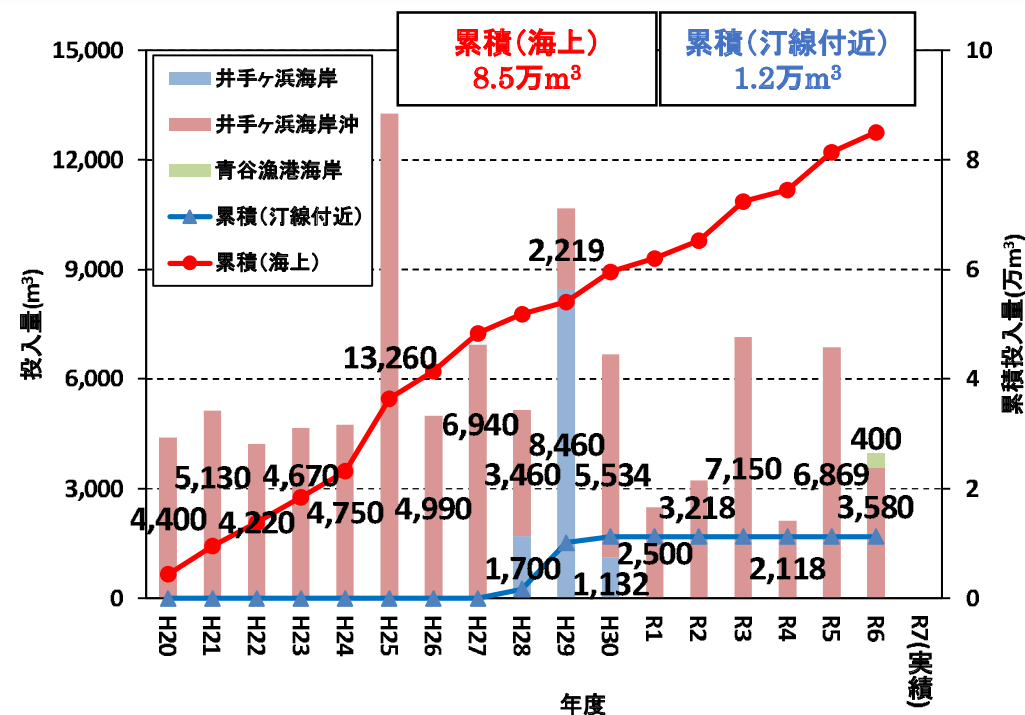
②現状(サンドリサイクル実績)

青谷海岸 42

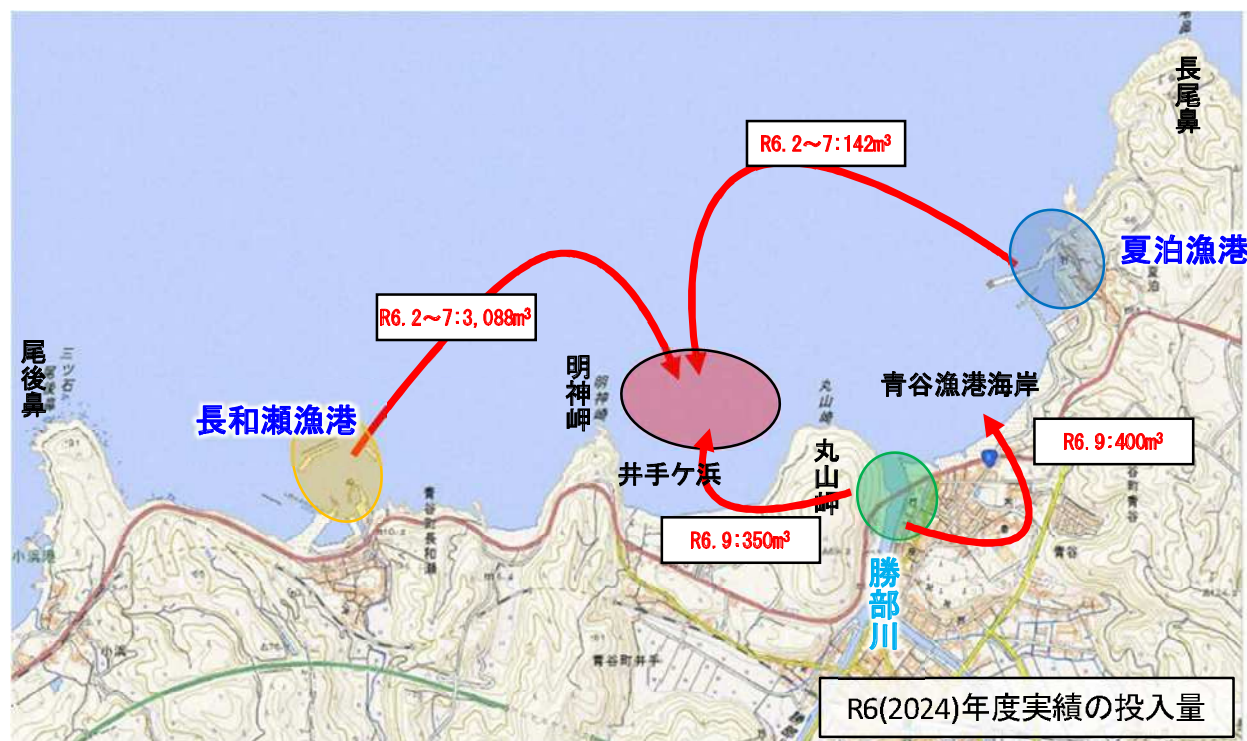
- 青谷漁港海岸では、H20（2008）年度から主に井手ヶ浜沖に土砂投入が行われている。

R2(2020) 年度	R3(2021) 年度	R4(2022) 年度	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度
3,218m ³	7,150m ³	2,118m ³	6,869m ³	3,980m ³

- H20（2008）年度からR7（2025）年7月までに、累積海上投入量は約8.5万m³、累積陸上投入量は1.2万m³が行われている。



※投入実績はR7年7月現在

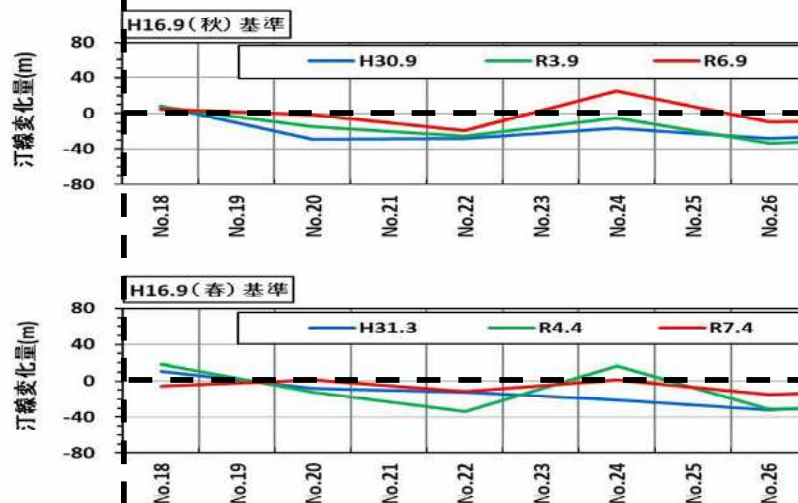


③現状(長期的な汀線変化)

長期的な汀線変化：井出ヶ浜では、R6.9(秋季)、R7.4(春季)の汀線は、概ね基準年の汀線付近で変動しており、H30.9(秋季)、H31.3(春季)から、回復傾向にある。青谷漁港海岸では、汀線は概ね基準年の汀線付近で変動している。



長期的な汀線変化

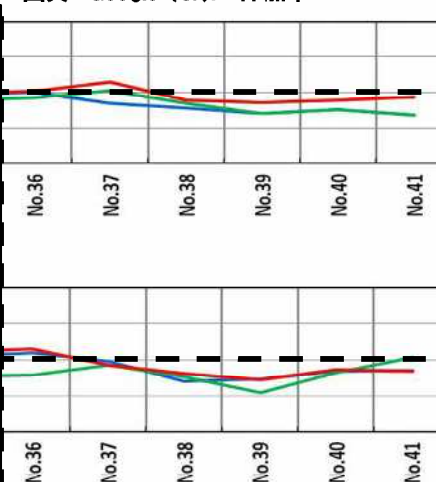


岩礁域

勝部川

導流堤

出典：Google (sf).一部加筆



H16年9月測量を基準とした長期的な汀線変化

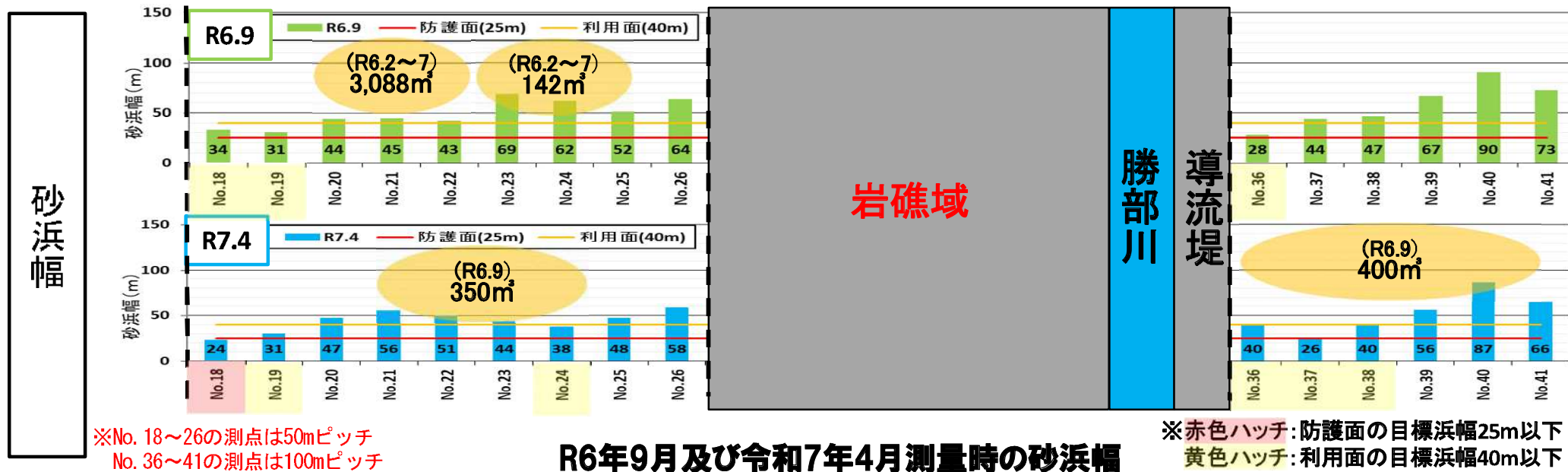
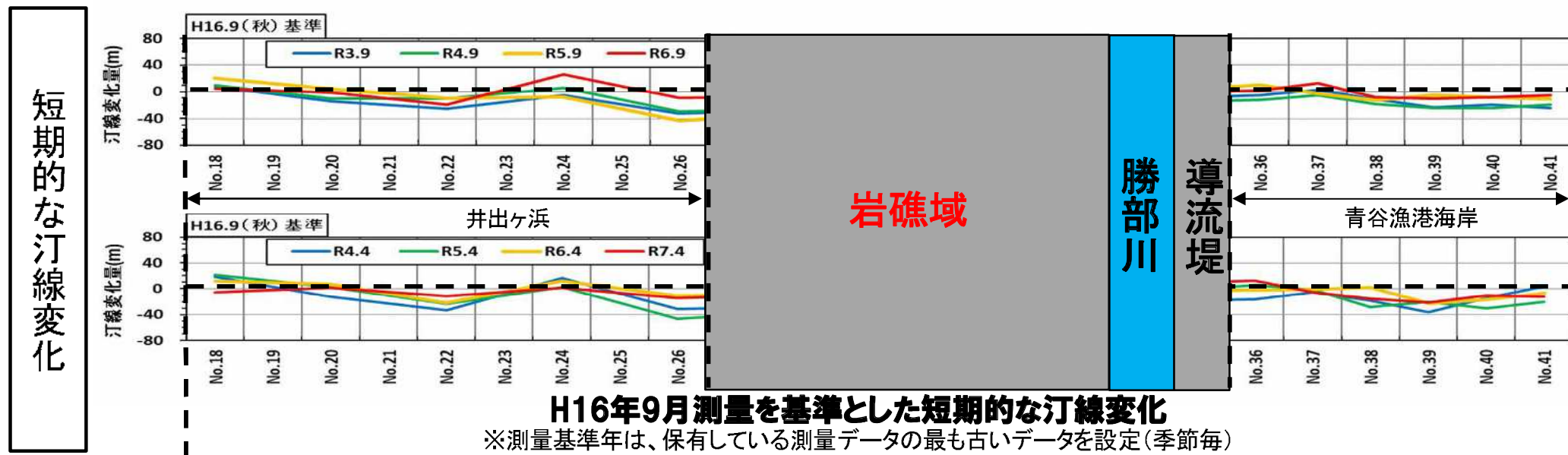
※測量基準年は、保有している測量データの最も古いデータを設定(季節毎)

④現状(短期的な汀線変化・砂浜幅)

青谷海岸 44

短期的な汀線変化：井出ヶ浜では、秋季、春季ともNo. 22～No. 26で前進傾向にある。青谷漁港海岸では、汀線は概ね基準年の汀線付近で変動している。

砂浜幅 (R7春)：井出ヶ浜では、No. 18で防護面の目安浜幅 (25m) を下回っている。



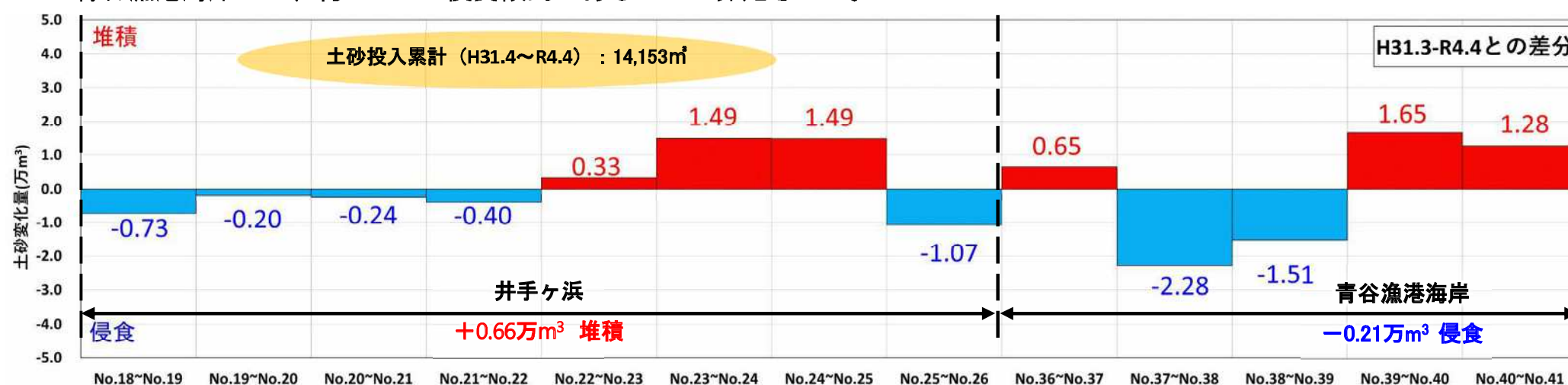
⑤土砂変化分析(中期)

【H31. 3とR4. 4土砂量比較】

- 井手ヶ浜では、約0.7万m³の堆積傾向であることが算定された。
- 青谷漁港海岸では、約0.2万m³の侵食傾向にあることが算定された。

【R4. 4とR7. 4土砂量比較】

- 井手ヶ浜では、約5万m³の堆積傾向にあることが算定された。
- 青谷漁港海岸では、約10万m³の侵食傾向にあることが算定された。



H31年3月とR4年4月の土砂量比較

※測量基準点～TP.-10mまでの土砂量を算出(移動限界水深(TP.-10m))



R4年4月とR7年4月の土砂量比較

※測量基準点～TP.-10mまでの土砂量を算出(移動限界水深(TP.-10m))

※100m間隔の測線におけるシングルビーム法による測量結果をもとに平均断面法で土砂量を算出

⑥課題と対応方針

【対応方針（案）】

- 汀線が前進し回復傾向にあることから、夏泊漁港と長和瀬漁港から井手ヶ浜へのサンドリサイクルを継続して実施する。
- 青谷漁港海岸で土砂量が減少傾向であると算定されたことから、継続してモニタリングを行うほか、勝部川河口堆積土の養浜を引き続き地元と調整する。



出典：Google (sf).一部加筆

	井手ヶ浜海水浴場	青谷漁港海岸
施設整備履歴	—	—
対策実施状況	土砂投入	土砂投入
利用状況	海水浴場（非開設）	利用なし
長期的な地形変化 (H16～R6、7)	回復、安定傾向	安定傾向
短期的な地形変化 (R3、4～R6、7)	前進傾向	安定傾向
砂浜幅(R7.4)	防護面の目標浜幅(25m)を下回る箇所がある。(9箇所中1箇所) 利用面の目標浜幅(40m)を下回る箇所がある。(9箇所中3箇所)	防護面の目標浜幅(25m)を確保
問題点・課題	防護面の目安浜幅(25m)の確保、利用面の目標浜幅(40m)の確保	土砂量が海岸全体で減少傾向
今後の対応方針	汀線が前進し回復傾向にあることから、夏泊漁港と長和瀬漁港から井手ヶ浜へのサンドリサイクルを継続して実施する。	土砂量が海岸全体で減少傾向にあると算定されたことから、継続してモニタリングを行うほか、勝部川河口堆積土の養浜を引き続き地元と調整する。

【参考】令和7年度_鳥取沿岸海水浴場開設状況

47

○県内の海水浴場11か所のうち、令和7年度に開設された海水浴場は9か所。

○鳥取砂丘海水浴場はサンドリサイクルによる砂浜再生により3年ぶりに開設。

○開設されなかった2海水浴場は地元管理者の高齢化に伴う担い手不足や、海水浴客減少に伴う運営難が理由に閉設。

名称	皆生温泉 海遊ビーチ	八橋 海水浴場	ハワイ 海水浴場	うの 海水浴場	小沢見 海水浴場	白兎 海水浴場	賀露みなと 海水浴場	鳥取砂丘 海水浴場	浦富 海水浴場	牧谷 海水浴場	東浜 海水浴場
市町村名	米子市	琴浦町	湯梨浜町		鳥取市				岩美町		
開設状況	開設	閉設	開設	閉設	開設	開設	開設	開設	開設	開設	開設
開設期間	R7.7.12 ～ R7.8.24	—	R7.7.11 ～ R7.8.17	—	R7.7.19 ～ R7.8.17	R7.7.5 ～ R7.8.17	R7.7.19 ～ R7.8.17	R7.7.24 ～ R7.8.24	R7.7.18 ～ R7.8.17	R7.7.18 ～ R7.8.17	R7.7.18 ～ R7.8.17

